

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	3970101352
法人名	社会福祉法人秦ダイヤライフ福祉会
事業所名	グループホームあざみの家
訪問調査日	平成 19年 6月 20日
評価確定日	平成 20年 2月 4日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

○項目番号について
 外部評価は30項目です。
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法
 [取り組みの事実]
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
 [取り組みを期待したい項目]
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。
 [取り組みを期待したい内容]
 「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
 家族 = 家族に限定しています。
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年7月5日

【評価実施概要】

事業所番号	3970101352		
法人名	社会福祉法人秦ダイヤライフ福祉会		
事業所名	グループホームあざみの家		
所在地 (電話番号)	高知市薊野北町2丁目25番8号 (電話) 803-1188		
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1 高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	平成19年6月20日	評価確定日	平成20年2月4日

【情報提供票より】(19年6月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15年 12月 28日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤	15人, 非常勤 0人, 常勤換算 15

(2) 建物概要

建物形態	<input checked="" type="radio"/> 併設 <input type="radio"/> 単独	<input checked="" type="radio"/> 新設 <input type="radio"/> 改築
建物構造	木造 造り	
	2階建ての	1階 ~ 2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000~45,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有(円)	<input checked="" type="radio"/> 無	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有/ <input checked="" type="radio"/> 無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	400 円
	夕食	400 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(6月1日現在)

利用者人数	18名	男性	1名	女性	17名
要介護1	1名	要介護2	5名		
要介護3	9名	要介護4	1名		
要介護5	2名	要支援2	0名		
年齢	平均 81.5歳	最低	73歳	最高	94歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	福田心臓血管外科消化器内科
---------	---------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

開設4年目を迎え、管理者の高齢者観、福祉観に支えられ、利用者はホームにしっかりと足を着け、生活をしていることがわかり、“生活がそこにある”ホームになっている。押しつけではない細やかな心配りを感じ、一人ひとりの利用者の存在感を大きく感じることができる。“主人公は利用者であり”“利用者同士が支えあい”“いたわりあって生活”している。ほのぼのとし、安心して暮らすことができるホームが出来上がっている。これは、管理者はじめ職員がそっと寄り添い、利用者の生活を支援した賜物であろう。ただ、利用者との人間関係の距離をもう少し持つと利用者はさらに肩の力を抜き、誰にも気兼ねすることなく“住み慣れた我が家で当たり前の生活”ができるものになる。今後は大いに期待できるホームである。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の改善点は、職員全員に報告し検討され、改善されている。また、その結果を運営推進会にも報告されている。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	前回の評価結果をもとに改善点を活かし、よりよいサービスの提供に努めている。今回の評価においても全職員が取り組み、均質な介護サービスの提供に努めている。また、サービスの向上を図るために、この評価の活用にも努めている。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	ホームは開設4年目を迎え、地域の中で認知され始めている。推進会では利用者の現状の説明、問題点の報告、地域との連携などの検討を行っている。小規模多機能型居宅介護の開設準備が進んでおり、あざみの里のノウハウを活かし利用者が自分らしく暮らすことへの取り組みを期待したい。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族会は年5回開催され、18名中15名と多くの参加を得ている。これは管理者、職員との信頼関係が構築されているためであろう。ただ、職員の退職があり、馴染みの関係が十分であるとは言い難い。利用者が不安なく安心して暮らすことが出来る環境は必要である。職員の退職は家族にとっても不安である。退職の背景を探り、職員が定着できることを法人本部と共に検討されたい。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会に入会し、法人本部の行う行事に地域住民の参加があり、また、ホーム側からも地域の公民館で行う「ちぎり絵」に参加するほか、宅老所との交流など、積極的に交流を図っている。小規模多機能居宅介護サービスを開設する予定で建設中でもあり、その取り組みにも期待したい。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容 ・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input checked="" type="checkbox"/> 事業所独自の理念がある。 [] <input checked="" type="checkbox"/> これまでの理念に加え、地域密着型サービスとしての役割を目指した内容である。 [地域とバリアをつくらないという管理者のホーム感に支えられ、地域の中の住みかになりつつある。]		
	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。 [月1回のホーム会や全体会で常に話し合い、また問題が発生した時は理念と照合するなど確認をし合っている。] <input type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面(言葉かけ、態度、記録等)において、理念が反映されている。 [温かみのある会話が聞かれたが、少々職員の会話のトーンが高く落ち着かなかった。]	○	一生懸命サービスを提供しようとする姿勢は伝わってきたが、“ゆったり”の理念を損なうことにもなるので、職員間で検討されることを望む。
2. 地域との支えあい					
	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に加入している。 [法人本部が町内会に加入しており、町内会の会合は、法人本部の地域交流ホールを提供し施設の社会化に努めている。] <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。 [地域の公民館のちぎり絵教室等への参加や宅老所との交流、一方防災訓練、夏祭り等には地域の住民の参加がある。]		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。 [サービス評価の目的について、昨年の評価の結果も含め、職員全体で話し合いがもたれ、取り組みがなされている。] <input checked="" type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。 [ホーム運営に関して、管理者は更に透明性を高める努力をされており、評価の結果を職員間で検討し、具体的な改善策を作成し改善ができています。]		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容 ・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input checked="" type="checkbox"/> 会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。 [利用者の状況報告、情報交換が中心で、積極的な意見交換とは言い難い。運営推進委員会の基盤は出来ており、会議録も取られ、家族会にも報告し、委員会の情報は共有できている。] <input checked="" type="checkbox"/> 評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて具体的に取り組み、実践できている。 [課題については、すべて会議に報告され、具体的な改善策や、経過報告も行っている。]		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	<input type="checkbox"/> 市町村職員の研修場所として活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折りに触れて伝えるなど交流を図っている。 [運営推進会議に包括地域支援センターの職員の参加はあるが、それ以外の交流はない。]	○	地域密着型サービスにおいて、市町村との連携は重要である。施設側から積極的に連携を図ることが望まれる。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて決め細やかな様子を知らせている。 [面会時には、積極的に近況報告を行い、家族との信頼関係は構築できている。] <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。 [写真入りのホーム便りを毎月発行し、ホームでの暮らしぶりを伝えている。] <input checked="" type="checkbox"/> 心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告されている。 [状況の変化があれば必ず電話連絡、報告を行っている。] <input checked="" type="checkbox"/> 金銭について、使途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。 [金銭管理規程に則り管理できている。金銭出納帳のコピーと領収書等を家族に送付しサインを貰い、金銭管理の透明性に努めている。]	○	金銭管理において、家族の確認印がないものも見受けられる。家族には必ず確認をしてもらい確認印をもらうことが望ましい。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。 [家族会を年5回程度開催し、家族の参加も多く積極的な家族への働きかけが出来ている。] <input checked="" type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。 [苦情箱を設置している。家族から口頭であった場合は、直ちに処理し記録にも残し、職員にも報告されホーム全体の問題として認識している。]		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	<input type="checkbox"/> 利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。 [担当制を取っているが、非正規職員の退職が多い。現在は、管理者の頑張りで混乱なく暮らしが継続できている。] <input checked="" type="checkbox"/> 職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取り、スムーズに移行できるように配慮している。 [職員が変わる時は、1～2日引継ぎを行っている。この引継ぎで十分とは言い難いが、核になる職員がおり、また利用者には十分な説明は出来ている。]	○	職員の退職等もあり、馴染みの関係が十分であるとは言い難いが、その馴染みの関係の希薄さを管理者が支え、利用者は不安にならず暮らすことが出来ている。職員の定着についての検討も必要であろう。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容 ・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="checkbox"/> 日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。 〔法人本部の研修、施設内研修、外部研修に積極的に参加し、非正規職員も正規職員と同様に研修に参加できる仕組みは出来ており、参加もしている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。 〔研修参加時は、報告書を提出し、全職員が閲覧でき、また伝達講習をホーム会で言い、職員間で共有できる仕組みが出来ている。〕		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。 〔県内のグループホーム連絡会に入会し、情報交換、研修等に積極的に参加できている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。 〔近隣のグループホームや宅老所と交流を持ち、当ホームのサービスのあり方について検討をするなど、サービスの改善に取り組んでいる。〕		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	<input type="checkbox"/> 入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めている。 〔利用者の背景録が少なく、また、アセスメントシートにも利用者をイメージできるものが少ない。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族に事業所の見学や体験してもらっている。 〔体験入居等は今まではないが、見学等は歓迎し、個別に相談にのり、利用者が安心して入居できるよう努めている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 入居希望者には、管理者と職員が面接を行っている。 〔入居希望者に対しては、家庭、病院等に管理者が面接に赴き、入居希望者や家族の意向に添いながら、入居に関しては柔軟に対応できている。〕	○	生活の継続が重要であり、利用者の全体像がイメージできるアセスメントシートを検討されたい。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	<input checked="" type="checkbox"/> 日々の生活場面の中で、利用者を支援されるのみの立場にはおいていない。 〔利用者の背景等の把握は職員間ではできており、それぞれのホームにおける役割を大切にしながら出来ない部分のみをそっと支援している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 支援する側、される側という意識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者から生活の技や生活文化の大事さを教えてもらう場面がある。 〔利用者を生身の先輩として尊敬し、利用者から「教わる」という積極的な姿勢が、伝わってくるホームである。〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容 ・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。 [日々の暮らしの中で、声かけしたり、暮らしぶりで何気ない会話からその思いを察知する様努めている。] <input checked="" type="checkbox"/> 意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。 [家族から許容の範囲内で情報の収集に努めている。]	○	日ごとに集められていく情報が記録として追加されていない。職員間の共有という観点から記録に残されることを期待したい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。 [カンファレンスに本人や家族も入りその思いや希望を聞き、プランに反映できている。] <input checked="" type="checkbox"/> アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。 [変わった事があった時や、3ヶ月に一度のモニタリング、カンファレンスを利用者、家族を含め行っている。また、プランのチェック表も作成し、プラン通りに実践されたか、評価できる仕組みが出来ている。]		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。 [短期目標3ヶ月間、長期を6ヶ月で設定され、見直しが出来ている。] <input checked="" type="checkbox"/> 本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直しされている。 [変化や、家族の要望、設定期間前でもこまめに検討、見直しがされている。] <input checked="" type="checkbox"/> ワンパターンの期間設定ではなく、本人の状態や計画内容に応じた個別の期間設定をしている。 [プランチェック表により、プランを実施したかどうか等、評価できやすい仕組みはできており、必要に応じて見直しもできている。]		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 医療処置を受けながらの生活が継続できるように努めている。 [協力病院の車の送迎があり、職員が付き添って受診でき、継続してホームで暮らせる仕組みが出来ている。] <input checked="" type="checkbox"/> 重度化した場合や終末期も事業所でケアを提供している。 [看取りを希望する利用者には、訪問看護により、24時間対応できる体制は出来上がっている。看取りの契約も行われている。] <input checked="" type="checkbox"/> 特別な外出、通院や送迎、外泊などの支援を行っている。 [外出、外泊等は自由で、4泊する利用者もいる。利用者や家族の要望に応え柔軟に対応できている。]		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容 ・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> いままでのかかりつけ医や本人、家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。 [利用者が希望する医療機関に受診はしている。ただし、受診は家族が対応している。] <input checked="" type="checkbox"/> 受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。 [一律に協力病院がかかりつけ医となるのではなく、入居前の病院に受診している利用者もあり、受診の自由は保障されている。] <input checked="" type="checkbox"/> 受診結果に関する情報の共有ができています。 [受診結果は、訪問看護等を通じ共有できる体制が出来ている。]		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	<input checked="" type="checkbox"/> 終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。 [看取りのマニュアルも作成され、マニュアルに則り要望のある利用者については契約もしている。] <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期が迎えられるよう取り組んでいる。 [医療連携体制のもと、訪問看護とは密接な連携がとれ、24時間対応できるよう契約している。]		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	<input checked="" type="checkbox"/> 人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉がけや対応に配慮している。 [さりげなく、寄り添い、一人ひとりの利用者を大切に、当たり前前の暮らしをしていること分かるホームである。] <input checked="" type="checkbox"/> 他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関する話を話さないことを徹底している。 [] <input checked="" type="checkbox"/> 全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。 [個人情報マニュアルも作成され、職員採用時には個人情報について話し合いがされ、理解されている。面会票もその都度他の人の目に触れないよう、箱に入れるなど配慮はされている。]		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの「その日」にしたいこと(買い物や散歩等)を把握し、それに応じて柔軟に支援している。 [職員は利用者のしたいことを、日々の暮らしの中で把握し、柔軟に対応出来ている。] <input checked="" type="checkbox"/> 事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。 [利用者が自然体で、利用者同士が支え合いながら暮らしている事が分かるホームである。利用者が主人公となっている。]	○	利用者の「出来ること」「出来ないこと」のチェック表を作成され、利用者ができることにアプローチされることが望ましいので検討されたい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容 ・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切にしている。 [利用者の希望を聞きながら献立をたて、利用者はできる調理を行い、食材も良心市等に行き、季節の食材の購入を心がけている。] <input checked="" type="checkbox"/> 職員は食事介助のみではなく、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。 [遅出の職員は、食事時、後片付けなどをしていたが、他の職員は同じ物を食していた。]		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。 [好きな時間の入浴に対応できる人員配置は出来ている。] <input checked="" type="checkbox"/> 入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせた入浴支援を行っている。 [入浴拒否のある利用者にも週2回入浴できるよう配慮され、利用者全員から清潔感を感じた。]		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握している。 [日々の暮らしの中で、楽しみや自然発生的に出来た役割を大切にし、その人らしく暮らせることの支援は出来ている。] <input checked="" type="checkbox"/> 食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。 [それぞれの利用者が出来ることに自発的に参加されている。] <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出す働きかけを行っている。 [外出等は職員の強制ではないため、利用者によっては外出回数が少ない方もいられるが、行事などは利用者と相談しながら決定している。]	○	一人ひとりの生活歴、社会的な背景の分かるシートがあれば、それにより昔とった杵柄等がアセスメントでき、その人らしさがイメージできるようになるので検討されたい。
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。 [散歩は日常化され、良心市、食材の買出し等、積極的に出かけることへの支援ができています。外出の重要性については職員も理解している。] <input checked="" type="checkbox"/> 歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的に行っている。 [車椅子使用の利用者も、他の利用者と一緒に出かけている。] <input checked="" type="checkbox"/> 日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。 [家族会も含め、四季折々に外出し、また毎日外出できる仕組みも出来ている。]		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容 ・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 居室や日中玄関に鍵をかけていない。 〔日中は玄関等に、鍵をかけることなく、いつでも自由な暮らしができるよう支援できている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。 〔開設3年を経過した生活の場は出来上がり、利用者との信頼関係は構築され、一人で外出することはない。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえ関係を築いている。 〔近隣の方、消防署や駐在所と積極的に連携をとっているとは言い難いが、自然に協力を得ることは出来ている。ホームが地域の中で認知されている。〕		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<input checked="" type="checkbox"/> 事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的に実施している。 〔法人本部が地域の避難場所となっているため、災害訓練には地域住民の参加があり、一緒に避難訓練を行っている。夜間の訓練も含め年2回行い、マニュアルも作成できている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。 〔消火器、避難路は整備され、非常用食料は3日間分が、法人本部で他施設分と一緒に備蓄されている。〕		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。 〔偏りのない食事サービスが提供され、食事、水分摂取量は把握できている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。 〔利用者の希望を聞き、献立に反映し四季の食材を取り入れるなど工夫が出来ている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。 〔法人本部の管理栄養士に定期的にアドバイスを受けている。〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容 ・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。 [ソファは利用者が対面できるよう配置され、良い人間関係が形成できるよう配慮されている。馴染みの物の配置はないが、こじんまりとし、安心して暮らせる空間は出来上がっている。]</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気を壊していない。 [壁面等はすっきりとし、落ちついた家庭的な雰囲気を醸し出している。利用者がお互い支え合いながら生活をしていることが分かるホームとなっている。]</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。 [季節の野の花が活けられ、絵手紙等が掲示されている。また、七夕の竹が準備されるなど、利用者に相談しながら季節感を感じることができるよう意識的に取り組んでいる。]</p>		
30	83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>使い慣れた馴染みの物を傍に置おくなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫されている。 [それぞれ個性のある居室となっている。以前家族から掃除の苦情があり、それ以降掃除機を使用し、清潔感のある居室となっている。]</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組まれている。 [馴染みの物を持ち込んでいる利用者も含めて、個人個人を尊重した居室づくりに工夫され、利用者の生活が想像できる居室となっている。]</p>		